

教育センター学びの丘研修員における学びについて

串本町立串本中学校

教諭 太田 昇

和歌山県教育センター学びの丘における研修員研修で、修養や研究を通し、教員としての資質・能力の向上を目指してきた。その1年間の学びについて述べる。

修養では、様々な研修講座や研修員研修を受講したことで、自身の視野を広げることができた。専門教科に関する研修のみならず、他教科、異校種の研修を受講することで、教科横断的な学びと校種間の接続の重要性を意識するようになり、チーム学校として教育課程を実施していくことの大切さを学んだ。

研究では、理科の考察・推論する場面における思考力・判断力・表現力等の育成について研究した。考察・推論を表現する際に、主張－事実－理由付けの三要素を意識することで、生徒がより妥当な考えを導き出すことに一定の効果があることが示唆された。

今後は、学びの丘研修員としての学びを生かし、生徒と教員の共同エンジェンシー育成に努め、学校や地域に貢献していきたい。